

中村一族の郷めぐりコース

歴史と自然を楽しむ旅。美しい風景の中で、昔の暮らしを想像しながら歩こう



歩いて、未病を改善！ 中井町 No.24
神奈川県・県西地域ウォーキング

「#県西ウォーキング」でSNSに
写真や感想をアップしよう♪



アクセス

- Sスタート** 神奈川中央交通バス〇「土屋橋」
小田急小田原線「秦野駅」から約15分
- Gゴール** 神奈川中央交通バス〇「中井町役場入口」
小田急小田原線「秦野駅」まで約20分
JR東海道線「二宮駅」まで約25分

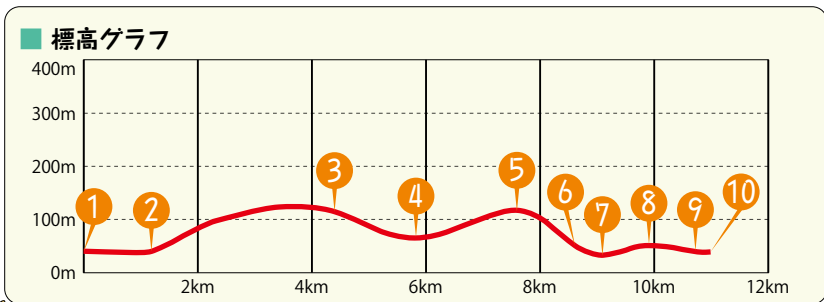
※バスの本数が少ないので事前にご確認ください。
※コース詳細は中井町ホームページをご参照ください。



歩行距離	歩行時間	消費カロリー
11.0km	3時間20分	605kcal
高低差	歩数	
84.9m	14,379歩	

コースの魅力

- 【花木】桜(3月下旬～4月初旬)、あじさい(6月) 【景観】 巖島湿生公園の湿原、富士山、相模湾、大山、関東平野
- 【★選】五所八幡宮例大祭(かながわのまつり50選)



コースの概要

源頼朝を支えた相模の武士団「中村党」の古跡をたどるコース。このあたりは中村宗平の三男土屋宗遠が拠点とした場所で館跡や墓塔が残ります。広々とした丘を歩けば市町境の道へ。遠藤原はかつて馬場があったと言われる場所、坂を下れば巖島湿生公園です。道は大山道をたどります。中井川にたどりつき、五所八幡宮を越えるとゴールの中井町役場入口バス停に。

「中村一族」って？ 鎌倉幕府立ち上げに関わる相模武士

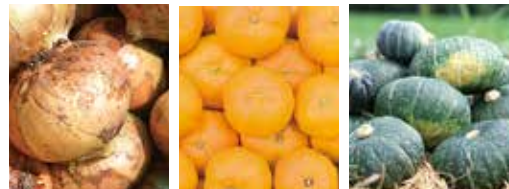
中井町は、「中村」と「井ノ口村」が合併してできた町。中世に活躍した相模武士の一団で、桓武平氏を源流とする中村党はこの地にちなんで「中村」を名乗りました。中村宗平の一族は、早い時期から源頼朝を支持し、そろって挙兵に参加しました。源頼朝は中村宗平の館にたびたび訪れたと言われていますが、館址や墓塔の場所は特定されていません。中村一族の歴史はミステリー？



源頼朝像(鎌倉市)

畑のかわりを楽しもう

中井の道を歩けば広がる畑。温暖な気候で、様々な作物が栽培されています。農の風景が季節を感じさせます。土の香りを感じる里山歩きを楽しもう。



※歩行距離と歩行時間は、中井町のデータを参照。 ※高低差、標高グラフは、国土院の地図データを参照。消費カロリー、歩数は、「成人男性：身長170cm、体重68kg」をモデルに計算。(元となる標高データの精度や計算方法による誤差が含まれています)。 ※各数値は、あくまで目安であり、年齢や体格、歩くスピードなどにより大きく変わることがあります。 ※掲載情報は、令和8年2月現在のものです。



ウォーキング MAP

湧水
葛川の源流とも言われる
巖島神社をはじめ、町内各所
で湧水を見ることができます。

ルールとアドバイス

- 1 ゴミは必ず持ち帰りましょう
- 2 植物・鳥・動物・虫などの採取・捕獲は絶対にやめましょう
- 3 自分に合った歩きやすい靴をはきましょう
- 4 水分の補給をごまめにしましょう

農の恵みを感じよう
目の前に広がる畑の風景。温暖な気候で、一年中野菜や果物が収穫されています。四季折々の野菜や果物が買える無人販売所もあります。

「大山道」って？

大山道とは、各地から庶民の信仰の対象とされた大山にある阿夫利神社へ参詣者が通った古道の総称。大山街道とも呼ばれます。町のあちこちで眺められる大山を見ながら、昔の人が歩いた道をたどってみるのも面白いでしょう。

上井ノ口の大山道道標



五所八幡宮

五所八幡宮は、1157年(保元2年)に比叡山の僧・義円によって創建されました。毎年4月29日、例大祭が行われます。五所八幡宮例大祭は、「かながわのまつり50選」に選ばれている中井の伝統的なお祭りのひとつで、特に「鷲の舞」は全国的にも大変めずらしい伝統芸能です。



水の恵みを楽しむ・巖島湿生公園

巖島湿生公園は、葛川の河岸段丘の下に広がる湿原。中央の小島に立つ赤い鳥居は巖島神社。地元では弁天さんと言われ親しまれています。湿原内は木道が巡らされ、カササゲやセキショウなどの湿生植物と水辺の生物の観察に適しています。恵まれた自然を求めて様々な鳥が集まり、春はまばゆい水辺の風景が楽しめます。



「未病」を改善すれば、人生はもっと楽しめる。
「かながわ県西地域」で未病を改善!!